

WELL-BEING しあわせがわかるガッコウ

校 訓

自 学

自 律

協 力

今年度の
学校目標学びを求める
羽中生言動を律する
羽中生仲間と伸びる
羽中生学校づくりは
学級づくり
から誰もが学びの
主体者になる学級集団の課題に気づき
自ら解決を図る学級仲間を敬い協働的な
活動ができる学級

心 理 的 安 全 性

教職員の
ミッション

寛容的で安心感のある「学級風土」がすべての礎

ご家庭の
ミッション「個別最適な学び・協働的な学び」を具現化する
ホンキの授業づくり

自 学

「学びに向かう力」を育み、勉強の「醍醐味」と「必要感」とを実感させる授業づくり

「学級経営シート」に基づいた「戦略的な」学級づくり（道徳で学び、学活で実践）

自 律

自律的な意識の向上を図るための、日常的な点検活動と改善への手だてを思考させる学級づくり

多様性を認め、他者のよさに気づき、仲間を尊敬する寛容力の醸成

協 力

「特別の教科 道徳」の授業力と、道徳教育全般の強化（教職員の「隠れたカリキュラム」）

毎日の300分で育むチカラ

学習指導要領より

知識・技能

思考力・判断力
表現力 等学びに向かう力
人間性 等

「勉強内容の定着」よりも「勉強に向かう習慣」を重視する生活の確立

自 学

「マルチステージ型人生」を生きる子どものための、社会生活における「学び」の重要性の理解

「自分が決めて、自分で動く」ことが実践できる環境づくり

自 律

家庭生活におけるルールづくりと遵守するための点検や内容の見直し

ダイバーシティ（多様性の尊重）を意識した言動と家族の共通認識

協 力

人としての道徳観や礼儀作法、相手に応じた言葉遣いや社会的なマナーなどの躰

主体的・対話的で深い学び

学びの礎となる教職員の働き方

心理的安全性の高い学級は
心理的安全性の高い職員室から

学校の役目

教育活動の精選と質的転換
教員・支援員の指導力向上
子どもの多様性の尊重
家庭への情報発信・共有時間的・精神的な
余白を生み出す子どもと関わり
働きがいを実感する

家庭・地域等との協力

健全育成への家庭との協働
学校運営協議会の活性化
部活動の地域クラブ化の推進
羽幌小学校との連携

1 学期【前 期】

2 学期【後 期】

3 学期【移行期】

今年度の
風土を築く前期（1 学期末）
学校評価学校づくりプランの見直し
【後期学校づくりプラン】ホンモノのチカラに
根ざす後期（2 学期末）
学校評価

12月に結果を出す

R9_スタートプラン

次なる
ステージへ
伸ばす卒業
& 進級

校訓

自学

自律

協力

今年度の
学校目標学びを求める
羽中生言動を律する
羽中生仲間と伸びる
羽中生学校づくりは
学級づくり
から誰もが学びの
主体者になる学級集団の課題に気づき
自ら解決を図る学級仲間を敬い協働的な
活動ができる学級

心理的安全性

寛容的で安心感のある「学級風土」がすべての礎

「勉強しなさい！」で学習へのやる気を引き出すのは至難の業です。特に思春期は「指図されること」から避けたい感情を抱くのが当たり前の年頃です。学習する「行為」を強いるよりも、「今日は学校でどんな勉強をした？」「今日は何やるの？」など、勉強に向かうことを応援したり、期待したりする声掛けやお家で学習できる環境づくりが大切です。

「おまえが勉強してるなんて雨降るな…」←コレ、やめてください！

頑張ろうとする姿を素直に応援してあげてください。冗談だと分かっててもやる気を失います。ぜひ「応援団」のつもりで接してあげてください。別の角度から見ると、親が真面目な取組を茶化したり冷やかしたりすることで、お子さんも他者をいじったり、いじめたりする人になりがちです。

「勉強しなくて生きていける」←コレ、やめてください！ 私たち教員への「営業妨害」です…(+、+)

今の子どもたちが生きる未来社会では、新たなことを学ぼうとする習慣（クセ）が大切な資質・能力として求められます。この先やってくる「人生100年時代」は、生涯一職業で過ごすことが難しくなるようです。そのため、今のうちから常に新たなことを身に付けようとする姿勢が必要なのです。

お風呂掃除、食器洗い、玄関掃除…何でも構いません。お家は安らぎの空間ではありますが、常に受け身で過ごすのではなく、お子さんの「責任ある行動」を実践できる場を設けてください。

※ただし「やらせすぎ」は「ヤングケアラー」に該当する可能性あり!? です…。

併せて、外出時の門限やお金の使い方、スマホ（SNS）やゲームのルールなど、ご家庭でしかできないきまりや約束、ルールを設けた上で確実に守らせてください。

このような、「自身の役割に責任をもつ」「きまりやルールを守る」などの自律心を高めることは学校でも同様に取り組んでいます。自律心は将来の社会生活に必要な不可欠な資質・能力です。

昨今は、性別や国籍、人種や障害の有無などに関わらず、誰もが差別を受けない公平な社会づくりが重要視されています。また、物事への価値観や感じ方も人それぞれ違って当たり前で、多様性を尊重することも大切です。

これらに関して、ご家庭においても差別的であったり、偏りがあったりする言葉を発しないようご注意ください。大人がしていることは子どももマネをします。時として、それは一般的な道徳観や礼儀作法、社会におけるマナーなどに影響することもあります。もちろん学校でも留意しながら指導に当たりますが、ご家庭での躾（しつけ）の徹底を何卒よろしくお願いいたします。

ご家庭の
ミッション

「勉強内容の定着」よりも「勉強に向かう習慣」を重視する生活の確立

自学

「マルチステージ型人生」を生きる子どものための、社会生活における「学び」の重要性の理解

自律

家庭生活におけるルールづくりと遵守するための点検や内容の見直し

協力

人としての道徳観や礼儀作法、相手に応じた言葉遣いや社会的なマナーなどの躾

毎日の300分で育むチカラ

学習指導要領より

知識・技能

学びに向かう力
人間性等思考力・判断力
表現力等

主体的・対話的で深い学び

学びの礎となる教職員の働き方

【保護者の皆様へお願いです】

学校への電話等による罵声や恫喝まがいのクレームはご遠慮願います。激しいクレームを受けた教職員の心は削られます。胸が苦しくなります。メンタルが壊れます。また、無理難題な要望は学校運営に支障をきたし、子どもたちの教育活動が滞る原因になりかねません。

学校の方針や教職員の指導に非があり、お子様やご家族に嫌な思いをさせたりご迷惑をおかけしたりすることがあれば、校長の責任のもとで、必要な説明責任を果たし、場合によっては謝罪をします。

もしも学校や教職員に対して何かあれば、冷静に、落ち着いた意見や要望、提案をお伝えください。子どもたちのために共に解決方法を探っていきますので、何卒よろしくお願い致します。